



<研究ノート>韓国語の動詞の習得についての考察

著者	石 賢敬
雑誌名	国際学研究
巻	12
号	1
ページ	153-161
発行年	2023-03-30
URL	http://hdl.handle.net/10236/00030726

韓国語の動詞の習得についての考察

石 賢敬*

A Study on the Acquisition of Korean Verbs

Hyungoeng SOK

要旨：本稿は、韓国語の動詞について授業で用いるテキストを中心に検討することを目的としている。動詞の種類は、固有語動詞、複合動詞¹⁾をはじめ、漢字語名詞に「하다」がついた動詞などの形で現れ、ここでは固有語と外来語などに「하다」がついた動詞の種類を含めて、主に4種類に分けてみる。

初級レベル (KOREAN I-II) から上級レベル (KOREAN V-VI) の動詞の語彙は、学習の時間とともに増加するが、とりわけ漢字語名詞に「-하다 (hada)」つきの動詞の語彙数の占める割合が著しく増加することが分かった。

中級レベル (KOREAN III-IV) では、動詞の基本的な意味のみならず多義語・同音異義語として現れる特徴があり、上級レベル (KOREAN V-VI) では受け身表現と使役表現の学習とともに語彙数の増加という特徴がみられる。

Abstract:

The purpose of this paper is to examine Korean verbs, focusing on textbooks used in classes. The types of verbs appear in the form of proper verbs, compound verbs, and verbs with '-hada' attached to kanji nouns. In addition, I will divide the verbs into four main types, including the types of verbs with '-hada' in proper words and foreign words.

Vocabulary of verbs at beginner level (KOREAN I-II) to advanced level (KOREAN V-VI) (increases with time of learning, but especially verbs with '-hada' to kanji nouns occupy the vocabulary. It was found that the percentage increased significantly).

At the intermediate level (KOREAN III-IV), not only the basic meaning of verbs but also polysemous and homonyms appear, and at the advanced level (KOREAN V-VI), the number of words increases along with the study of passive expressions and causative expressions.

キーワード：固有語動詞、複合動詞、受身

本稿は、韓国語の動詞の習得を日本人学習者の学習レベルごとに分けて検討することを目的とし、関西学院大学国際学部の〈KOREAN (I-VI)〉授業のテキストである『이화 한국어 梨花

韓国語』(日本語版)に出てくる動詞を中心に検討することとする。まず、〈KOREAN I〉のテキスト『이화 한국어 梨花韓国語 1-1』に出る動詞について、文法的な学習において分類しやすい固

*関西学院大学国際学部常勤講師

1) 韓国の文法では合成動詞としている。

有語動詞、複合動詞、漢字語名詞に「하다 する」がついた動詞などに分けて検討する。

1. 『이화 한국어 梨花韓国語 1-1』の動詞

初出動詞は、「어디에서 왔습니까?どこから来ましたか。」「일본에서 왔습니다.日本から来ました。」という会話で自己紹介のために必要である「오다 来る」動詞である。次に出ている動詞は、「무슨 일을 합니까? どういう仕事をしていますか。」の「하다 する」と自己紹介の時に表現する会話文の「만나서 반갑습니다. お会いできてうれしいです」の「만나다 会う」である(p.43)。

ここで、『이화 한국어 梨花韓国語 1-1』に出る動詞の種類を、固有語動詞、固有語-하다 動詞、漢字語-하다 動詞、合成動詞に分類し次の表にまとめてみる。

表 1

固有語動詞 (計 37)	오다 来る, 하다 する, 만나다 会う, 먹다 食べる, 사다 買う, 살다 暮らす, 자다 寝る, 쉬다 休む, 가다 行く, 타다 乗る, 듣다 聞く, 보다 見る, 읽다 読む, 입다 着る, 마시다 飲む, 기다리다 待つ, 배우다 習う, 끝나다 終わる, 가르치다 教える, 쓰다 書く, 펴다 開く, 닫다 閉じる, 일어나서 立ち上がる, 앉다 座る, 놀다 遊ぶ, 일어나다 起きる, 묻다 尋ねる, 다니다 通う, 닫다 閉める, 빌리다 借りる, 보내다 送る, 찾다 探す, 깎다 切る, 찍다 撮る, 나다 出る, 닮다 似る, 열다 開ける
固有語-하다 外来語-하다 副詞-하다 形容詞-아/어하다 (計 9)	이야기-하다 話す, 샤워-하다 シャワーする, 일-하다 働く, 쇼핑-하다 買い物する, 구경-하다 見物する, 잘-하다 うまい・上手だ, 못-하다 下手だ・うまくない, 좋-아하다 好きだ・好む, 싫-어하다 嫌いだ・嫌う
漢字語-하다 (計 24)	공부-하다 勉強する, 운동-하다 運動する, 전화-하다 電話する (以下、漢字語名詞のみ提示する) 질문 質問, 대답 答え, 숙제 宿題, 부탁 お願い, 실례 失礼, 출근 出勤, 회의 会議, 퇴근 退勤, 준비 準備, 청소 掃除, 시작 始め (始作), 식사 食事, 사용 使用, 산책 散歩, 세수 洗顔 (洗手), 등산 登山, 여행 旅行, 외식 外食, 외출 外出, 도착 到着, 결혼 結婚

複合動詞 (計 7)	도와주다 助けてあげる・手伝ってあげる, 올라가다 上がっていく, 다녀오다 行ってくる, 돌아오다 帰ってくる, 물어보다 尋ねてみる, 찾아보다 探してみる, 알려주다 知らせてあげる
---------------	--

必修学習項目ではなく、学習のために必要であると思われる内容として日本語訳付きでテキストに出ている動詞を、次の〈表2〉にまとめる。〈表1〉と〈表2〉でまとめている動詞の種類は、同基準で分けている。

表 2

固有語動詞 (計 6)	알리다 知らせる, 주다 あげる, 묻다 尋ねる, 나누다 分ける, 알다 知る, 고치다 直す
固有語-하다 (計 1)	말-하다 言う
漢字語-하다 (計 4)	소개-하다 紹介する, 인사-하다 挨拶する, 반응-하다 反応する, 표현-하다 表現する
複合動詞 (計 2)	물어보다 尋ねてみる, 찾아보다 探してみる

1-1 学習レベルと語彙

固有語動詞のうち、受講者の習得レベルに合わせて学習しないといけない動詞としては、「듣다 聞く」があげられる。この動詞は、秋学期のテキストである『이화 한국어 梨花韓国語 1-2』の第11課の学習項目であるが、初級教材の最初の段階から接する語彙となっている。まだ、用言の活用として「해요体」と「합니다体」という丁寧な表現(－です、－ます)が身につく前に、その不規則活用を習うことはできないと思われるが、活用もできない語彙を学習する前から接することとなるのである。

また、教室用語として、「쓰다 書く、(책을) 펴다 (本を) 開く、(책을) 닫다 (本を) 閉じる」などの動詞を「-(으)세요 -してください、-しなさい」という表現と一緒に学習することになる(第6課)が、「쓰다 書く」は、「해요体」の活用がまだ不可能な段階であるので、学習項目にふさわしくない動詞類であると思われる。という

ことで、学習レベルに適合しない動詞として「듣다聞く、쓰다書く」を揚げておく。授業中使われる表現としては必要であると思うが、これらの動詞も決まり文句同様、文法的な説明なしで覚えさせた方がいいとも思われる。

上記〈表1〉であげている動詞のほかに、「잠을 자다(眠りを)寝る」、「돈을 찾다お金を下ろす」のように、語句で習得しないといけない類もある。まず、「잠을 자다」の場合、「자다寝る」の名詞形である「잠眠り²⁾」についての学習は行わずに初級では語彙レベルで習得することとなる。次の「돈을 찾다」は、「찾다探す、見つける」という動詞を基本的な意味の学習をする前に、初出単語として「돈을 찾다お金をおろす」という語句で学習することは初級レベルでは少し難しいのではと思われる内容である。

1-2 日本語との助詞の対応

日本語と助詞の対応をしないで、目的格の助詞「を」格をとる動詞である「만나다会う」は、同じく「を」格をとる動詞「타다乗る」の学習を同時に行うことで、理解度および学習力の向上にもつなぐことができると思う。さらに、「좋아하다好む・好きだ、싫어하다嫌う・嫌いだ、잘하다うまい・上手だ、못하다うまくない・下手だ」類の動詞は、日本語訳から見て形容詞（形容動詞）と思われてしまいがちであるが、「を」格をとる動詞であることも一緒に学習することが望ましい。これらの動詞は、対象となるものを目的語としてとると言うことが大事な学習内容となるのである。

また、助詞の対応として取り扱うべき内容として、「여행을 가다旅行に行く」があり、直訳すると「旅行に行く」となる。日本語の助詞「に」に対応する韓国語は場所および時間などの体言につく「에」であるため、この「旅行」という名詞にはつくことができない。「旅行」とは場所ではなく対象（目的）としてとらえられて「を」格をとることとなるのである。「유학留学、출장出張」も同じである。

1-3 複合動詞

『이화 한국어 梨花韓国語 1-1』に出ている9語彙の合成動詞は、不規則活用をする動詞（「돕다手伝う、助ける」、「오르다上る、上がる」）があることと、「오다来る、가다行く」という移動動詞と合成している動詞類であるという特徴がある。

「도와주다助けてあげる・手伝ってあげる、올라가다上っていく・上がっていく」は、文法内容を学習する前に接する動詞として複合動詞ではなく一つの語彙として習得することになっている。なお、「올라가다上っていく」のように、移動動詞との合成でできた語彙として「다녀오다行ってくる、돌아오다帰ってくる」があるので、「다녀오다行ってくる」は「갔다오다」との意味の差についての学習および、「돌아오다帰ってくる」は「돌아가다(帰っていく)」の学習も同時に行うことでもう少し進んだ内容の学習が可能となる。

移動動詞「오다来る、가다行く」との合成する動詞には、『이화 한국어 梨花韓国語 1-2』に出ている「나다出る、가지다持つ、들다入る」がある。これらは、移動動詞と合成をすることで、人およびもの等の移動する前の出発点とその方向に焦点を当てられるので、発話者と聞き手の位置情報にも触れる表現が可能な動詞である。

1-4 「～ている」形と過去形の対応

「뵈다似る」は、過去形を用いて現在の状況を表現する語彙である。同じタイプの用言として、「결혼하다結婚する、잘생기다格好いい」がある。例えば、「결혼하다結婚する」は、日本語にすると「結婚している」である。しかし、「結婚している」を韓国語で直訳すると「結婚式場で今結婚している」という進行形の意味に捉えることになる。結婚している状況を表すためには「결혼했다結婚した」という過去形を用いるとの説明をしておく必要がある語彙である。

2) 『이화 한국어 梨花韓国語 2-2』の学習項目である。

1-5 多義語と同音異義語

教室用語として「-してください」という表現とともに学習する「쓰다」は、先に「書く」の意味を、次に「(眼鏡を)かける」という意味を持つ動詞として学習することとなる。ほかに「使う、(帽子を)かぶる」という意味と形容詞の「苦い」と意味も持つ語彙である。

國廣(1982)によると、「多義語」とは、「同一の恩恵に意味的に何らかの関連を持つふたつ以上の意味が結び付いている語を言う」とし、「同音異義語」とは、「同一の音形に、意味的に関連を持たないふたつ以上の飯見が存在する場合に生じるふたつ以上の語のことである」と定義している。

「쓰다」は、意味的に関連を持たない「書く、使う、かける、苦い」などの意味を持つ語彙なので同音異義語であるといえるが、「(眼鏡を)かける」と「(帽子を)かぶる」という二つの意味は意味的に何らかの関連を持つものと考えられるので、多義語ともいえると思われる。

また、「골프를 치다 ゴルフをする」³⁾という表現で初めて出る「치다」は、「打つ、叩く」という意味の動詞で、「ゴルフ」をはじめ「テニス、ピアノ、ギター」などのスポーツや楽器の演奏にまで表現できる動詞である。

2. 『이화 한국어 梨花韓国語 1-2』の動詞

テキストの動詞を、『이화 한국어 梨花韓国語 1-1』と同じ4分類をして次の〈表3〉にまとめる。

表 3

固有語動詞	세다 数える, 깎다 まける, 주다 あげる, 팔다 売る, 가르치다 教える, 던지다 投げる, 켜다 点ける, 묵다 泊る, 모르다 分からない, 만들다 作る, 닫다 閉める, 빌리다 借りる, 사귀다 付き合う, 마치다 終える, 되다 なる, 가지다 持つ, 시키다 させる, 지키다 守る, 늦다 遅れる, (감기에) 걸리다 かかる, 돕다 助ける, 넣다 入
-------	---

固有語動詞	れる, 웃다 笑う, 건너다 渡る, 내리다 降る, (길이) 막히다 (道が) 混む, 나타내다 表す, (살을) 빼다 痩せる, (면허증을) 따다,取る (벨트를) 매다 絞める, 피우다 吸う, 버리다 捨てる, (손을) 대다 当てる, (눈이) 오다 降る, 그치다 止む, 불다 吹く, (안개가) 끼다 かかる, (계획을) 세우다 立てる, 알다 知る, 지내다 過ごす, (짐을) 들다 持つ, 받다 もらう, 남기다 残す, 계시다 いらっしゃる, 바꾸다 変える, 끄다 消す, 떠들다 騒ぐ, 끊다 切る, 걸다 かける, (노래를) 부르다 歌う, 놀라다 驚く, 켜다 点ける, 다치다 怪我する, 신다 履く, 닦다 磨く, (머리를) 감다 (髪を) 洗う, 씻다 洗う, 자르다 切る, (시간을) 내다 出す, (김치를) 담그다 漬ける, 그리다 描く, 모으다 集める, 모이다 集まる, 드시다 召し上がる, 키우다 育てる, 만지다 触る, 그만두다 辞める
固有語-하다 外来語-하다 形容詞-아/어하다	조깅하다 ジョギングする, 마중하다 迎える, 말싸하다 おっしゃる, 파티하다 パーティーする, 메모하다 メモする, 기뻐하다 喜ぶ
漢字語-하다	관광하다 観光する, 요리하다 料理する, 제안하다 提案する, (以下、漢字語名詞のみ提示する) 선물 프레젠티, 예매 (チケットを) 予約, 정리 整理, 졸업 卒業, 취직 就職, 초대 招待, 토의 討議, 구성 構成, 저축 貯蓄, 입학 入学, 주차 注射, 나열 される, 수영 水泳, 실행 実行, 가정 仮定, 정혼 프로ポーズ, 고려 考慮, 설명 説明, 추측 推測, 축하 祝賀, 확인 確認, 통화 通話, 반복 反復, 비교 比較, 변경 変更, 기억 記憶, 실수 (失手)ミス, 시도 (試圖) 試み, 경험 経験, 가입 (加入) 入会, 주의 注意, 활동 活動, 계속 継続, 정 (定) 하다, 전 (傳) 하다
複合動詞	다녀오다 行ってくる・戻る, 돌아가다 帰る (帰っていく), 돌아오다 帰る (帰ってくる), 갈아타다 乗り換える, 나오다 出てくる, 나가다 出ていく, 가져오다 持ってくる, 찾아보다 探してみる, 도와주다 手伝ってあげる, 돌려주다 返してあげる, 바꿔 주다 変えてあげる, 들어오다 入ってくる, 들어가다 入っていく, 신어 보다 履いてみる, 알려 주다 教えてあげる

3) 「ゴルフをする」という表現として「골프를 하다」と「する 하다」動詞をそのまま使う表現も可能であるが、楽器のほうは少し不自然な表現になる。

2-1 固有語動詞

固有語動詞の中で、学習時に語義通りではなく応用した内容をも習得する動詞の例を上げて詳しく見ることにする。

1) 닫다 閉める

「문을 닫다」は、日本語同様、「ドアを閉める」という意味とともに「閉店する」という意味でも使われる表現なので、同時に「ドアを開ける、開店する」という意味の「문을 열다」の学習を行うことで、次の段階で学習する「전시회를 열다 展示会を開く」という表現にも触れておくことができる。

2) 시키다 させる、注文する

(1) 뭘 시킬까요? 何をさせましょうか。何を注文しましょうか。

(2) 같이 놀고 집안일도 해 주고 목욕도 시켜 줍니다.

一緒に遊んで家事もしてあげてお風呂にも入れてあげます。

「시키다」は「させる」という使役動詞であるが、食堂などの会話になると「注文する」という意味で用いる動詞である。しかし、使役動詞としての「시키다」は(2)の「お風呂に入れさせる」が出るだけである。上位レベルで学習するのは、使役動詞を文法項目とする〈KOREANVI〉(『이화 한국어 梨花韓国語 3-2』)であり、次にその例を一つあげる。

(3) 카드를 분실했을 때 바로 정지시켰어야지요.
カードを紛失した時すぐに停止させておかないと。

「정지시키다 停止させる」と同じく「漢字語名詞 -시키다」という形となっている動詞は「감동시키다 感動させる、안심시키다 安心させる、충전시키다 充電する(充電させる)」がある。ほかには「말시키다(話-させる) 話かける」のような「固有語名詞 -시키다」の表現も出ている。

3) 깜짝 놀라다 驚く、잘못 걸다 (電話を) かけ間違う

「驚く」に対応する動詞は「놀라다」であるが、

韓国語では驚いたときの様子なども表現する副詞「びっくり・はっと・ぎょっと」という意味の「깜짝」と一緒に表現することが多いので一つの語句で学習することになる。また、日本語では複合動詞である「かけ間違う」という表現を、「電話をかける」という動詞に副詞「間違えて、うっかり」という意味の「잘못」を一緒に表現することから両語の差を見ることが出来る。上級レベルでは、「잘못 알다 間違っていて知っている」という表現の習得も必要となる。

2-2 「漢字語 -하다」動詞

『이화 한국어 梨花韓国語 1-1』で出ている「漢字語 -하다」動詞は、漢字語名詞のみであったのに対して、ここでは「정하다 決める、전하다 伝える」という名詞ではない漢字語に「하다」がついた動詞が出ている。

また、「する」という「하다」動詞で用いる表現として、「테니스를 하다 テニスをする」があるが、これについては1-5でみた「골프를 하다 ゴルフをする」の内容と同じである。ほかに「밥을 하다 ご飯を炊く(ご飯をする)」があるが、ここでの「하다」には「作る」という意味も含まれている。「炊く」という意味の「짓다」は、不規則活用をする動詞で、〈KOREANIII〉(『이화 한국어 梨花韓国語 2-1』)の内容となっている。

2-3 「漢字語 -되다」動詞

上記の4種類の動詞のほかに出ている動詞として、「漢字語 -되다」の語彙があげられる。ここでは、「취소(取消) 取り消し・キャンセル、금지 禁止、허용 許容」という漢字語名詞に「되다」なる、される」がついている動詞である。

「되다」は、「なる」という意味で「する」との意味合いの違いについて考える必要がある語彙であり、「される」という意味では「受身」、「敬語」の意味合いについても学習する語彙である。

「취소하다」は、「キャンセルする・取り消す」という意味で習得していいものの、「취소되다」の場合は(4)のように「キャンセルになる」という意味で習得することとなる。

(4) 내일 동창 모임이 취소됐어요. 明日の同窓会

がキャンセルになりました。

- (5) 공공장소에서 금지된 행위에 대해 말할 때 어떻게 말할까요?

公の場で禁止されている行為についてどのように話しましょうか。

- (6) 다음 장소에서 어떤 행위가 허용되는지 묻고 대답해 보세요.

次の場所ではどんな好意が許されるか、質問して答えてみましょう。

3. 『이화 한국어 梨花韓国語 2-1』의 動詞

ここからは、各々のテキストと特徴を取り上げることとする。

〈KOREANⅢ〉テキストの〈KOREAN I-II〉テキストとの著しい特徴は、すでに習得した動詞の多義語と同音異義語であるといえる。

1) 들다 入る

「들다」は、「들어오다 入ってくる、들어가다 入っていく」の「入る」という意味で習得したが、「(荷物を) 持つ」など様々な意味を持っていることを学習することとなる。

表 4⁴⁾

入る	잠이 들다 寝入る、서랍에 들어 있다 引き出しに入っている、정이 들다 情がわく、마음에 들다 気に入る、도둑이 들다 泥棒に入られる
持つ	꽃다발을 들다 花束を持つ、손에 들다 手に持つ、들고 다니다 持ち歩く
あげる	예를 들다 例をあげる、얼굴을 들다 顔をあげる
かかる	돈이 들다 お金がかかる

2) 풀다 解く

「풀다」は「문제를 풀다 問題を解く」「스트레스를 풀다 ストレスを解消する」という意味から、「짐을 풀다 荷造りを解く、荷物を下ろす」と「된장을 풀다 味噌を溶かす、넥타이를 풀다 ネクタイを外す、기분을 풀다 機嫌を直す・気を晴らす」などの意味を持つ表現を学習する。同音

異義語として「코를 풀다 鼻をかむ」の学習も行われる。

4. 『이화 한국어 梨花韓国語 2-2』의 動詞

〈KOREANⅣ〉で学習する動詞の特徴としては、「来る、行く」という移動動詞との複合動詞(合成動詞)のほかに、「갈아타다 乗り換える、갈아입다 着替える」という複合動詞と「잃어버리다 なくしてしまう」という「-아/어 버리다 ~てしまう」補助動詞が出ていることをあげられる。

1) 나다 出る

複合動詞としてすでに習得した「나오다 出てくる、나가다 出ていく」を用いた表現に、「성적이 잘 나오다 良い成績をもらう(良い成績結果が出る)」がある。次に「나다 出る」とともに使われる名詞の例を基本的な意味に基づいて紹介する。

表 5

出る①	열 熱、눈물 涙、기침 咳、힘 力、상처 傷(傷つく)
出る②	기사 記事(記事になる)、광고 広告、소문 噂
起きる	사고 事故、지진 地震、고장 故障
出る、出す	배탈 腹痛、멀미 乗り物酔い、짜증 イライラ、화 怒り
出す	생각 思い(思い出す)、기억 記憶(覚える)

また、「빛이 나다 光が出る」の縮約形「빛나다 輝く」、「혼이 나다 魂が出る」の縮約形「혼나다 怒られる」がある。

2) 받다 もらう、受け取る

これまでの「받다」は、「장학금 奨学金、전화 電話、사인 サイン・署名」など授受動詞としての「もらう、受け取る」という意味であったが、ここで「漢字語名詞 -받다」の形で「~される」

4) 〈KOREANⅥ〉までのテキストに出る表現をまとめる。

という受身動詞としての学習が行われる。(7)と(8)は「연락하다 連絡する、소개하다 紹介する」に対しての「連絡される、紹介される」という意味であるが、受身表現であるというより、まだ「連絡、紹介」を「もらう、受け取る」という意味が濃厚である。しかし、(9)は「간섭받다 干渉される」は「간섭하다 干渉する」に対しての受身表現であるといえる。

- (7) 약속 시간이 바뀐 걸 연락받았어요?
約束の時間が変わったことの連絡をもらいましたか。
- (8) 몇 달 전 나는 한국 여자 친구를 소개받았다.
数か月前、私は韓国人の女性を紹介してもらった。
- (9) 같이 사니까 사생활을 간섭받아서 생활하기 불편한 점도 있어요.
一緒に住んでいるからプライベートを干渉されて不便な点もあります。

「名詞 -하다 する」に対しての受身表現として、「名詞 -받다 もらう (される)」の形でテキストに出ている語彙は、「부탁 頼み、진료 診療、치료 (治療) 手当て、추대 推戴、오해 誤解、존경 尊敬、인정 認定、칭찬 称賛、사랑 愛、안내 案内、평가 評価」である。

5. 『이화 한국어 梨花韓国語 3-1』の動詞

〈KOREAN V〉で学習する動詞の特徴は、すでに2-3で紹介した「漢字語 -되다」動詞が多いことである。〈KOREAN VI〉に出る「漢字語 -되다」動詞と一緒に紹介すると次のようである。

5-1 「漢字語名詞 -되다」動詞

表 6

KOREAN V	KOREAN VI
걱정되다 心配される、 (以下、漢字語名詞のみ提示する) 긴장 緊張、예정 予定、마감 締め切り、관련 関連、향상 向上、반복 反復、포함 包含、연기 延期、취직 就職、마비 麻痺、매진 売り切れ、전달 伝達、당첨 当選、저장 貯蔵 (保存)	발명되다 発明される、 (以下、漢字語名詞のみ提示する) 발견 発見、개발 開発、사용 使用、완공 完工、판매 販売、준비 準備、변경 変更、통일 統一、후회 後悔、해석 解釈

〈表6〉は「걱정하다 心配する」のような漢字語名詞に、「-하다」の代わりに「-되다 なる・される」がつくことで受身表現となる動詞類である。ただし、韓国語で「-되다 なる・される」がついた動詞の場合、日本語訳で必ずしも受身で訳すとは限らない。

一方、「名詞-이/가 되다 名詞~になる」の例としては、「부담이 되다 負担になる、기대가 되다 期待する、방해가 되다 邪魔になる、도움이 되다 役立つ (助けになる)、영향이 되다 台無しになる」がある。「기대가 되다」の直訳は「期待になる」であるが、「楽しみである」という意味も必要である。

5-2 形容詞の動詞化

「기쁘다」という形容詞に「-아/어하다」がついた「기뻐하다」は、「喜ぶ・嬉しがる」という動詞になる。文法項目として説明することで、〈KOREAN V〉までに出てきた表現を復習し、2・3人称との共起関係についても学習することができる。

表 7

形容詞	-아/어하다	形容詞	-아/어하다
피곤하다	피곤해하다 疲れている	괴롭다	괴로워하다 苦しむ
슬프다	슬퍼하다 悲しむ	지루하다	지루해하다 退屈している
안타깝다	안타까워하다 残念に思う	외롭다	외로워하다 寂しがる

힘들다	힘들어하다 大変に感じる	불안하다	불안해하다 不安になる
-----	-----------------	------	----------------

5-3 多義語・同音異義語

1) 맞다 合う、叩かれる・打たれる

「맞다」の基本的な意味は「틀리다 間違う」の反義語である「合う、正しい」で、「その通りです、もちろんです」という同意を表す表現と「입에 맞다 口に合う、적성에 맞다 適性に合う」など「~に合う」という表現で習得する語彙である。

他の意味としては、「打つ、叩かれる」の意味があり、テキストでは「주사를 맞다 注射を打つ、비를 맞다 雨に降られる、도둑을 맞다 泥棒に入られる」という表現が出ている。「도둑을 맞다 泥棒に入られる」は、すでに取り上げている「도둑이 들다 泥棒が入る」より被害を受ける意味合いが入ることとなる。

2) 맞추다 合わせる、当てる

「맞추다 合わせる」は、「맞다 合う」の使役動詞で、「리듬에 맞추다 リズムに合わせる、눈을 맞추다 目を合わせる、시간에 맞추다 時間に間に合わせる、입을 맞추다 口裏を合わせる・口をそろえる」という表現で学習する語彙である。あわせて、「입을 맞추다」は、「当てる」という意味から「口づけする」という慣用句としての内容をも習得することとなる。また、「옷을/반지를 맞추다 服を/指輪をあつらえる」という表現に関しては、「オーダーメイド、カップリング」という拡張した意味合いをも含むことについての説明も行われる。

6. 『이화 한국어 梨花韓国語 3-2』の動詞

6-1 「-아/어지다」受身

初級レベルでは、形容詞について状態変化（~くなる、~になる）の意味となると学習するが、ここでは固有語動詞（他動詞）の後について自動詞または受身動詞となる語彙として学習する。この「-아/어지다」は他動詞についた形ではなく、「떨어지다 落ちる、빠지다 はまる、부서지다 砕ける、망가지다 つぶれる、쓰러지다 倒れる」のように自動詞の語彙もある。

表 8

固有語動詞	-아/어지다	固有語動詞	-아/어지다
세우다	세워지다 立てられる	쏟다	쏟아지다 こぼれる
만들다	만들어지다 作られる	찢다	찢어지다 裂かれる
깨다	깨지다 割れる	쓰다	써지다 書かれる
켜다	켜지다 つく	지우다	지워지다 消される
이루다	이루어지다 行われる		

「-아/어지다」受身形は、日本語の受身形である「~(ら)れる」に比べて生産性が高いとは言えない。要するに、「-아/어지다」が受身の意味を表すことは非常に限られた場合なので、他動詞を先行動詞としても全て受身の意味を表すとは限らない(손세모돌 1996)。例えば、「놀러지다」は、「누르다 押す」という動詞に「-아/어지다」がついた形であるが、「押される」という受身の意味のほか「押せる」という可能の意味を持つこともあるので、可能表現についての学習も行うこととなる。

6-2 「입다」受身

「負う、受ける」という意味の「입다」という語彙は、〈KOREANVI〉までのテキストで「상처를 입다 傷を負う」のみが出ている。「입다」動詞に「負う、受ける」という受身の意味があり、「상처를 주다 傷を与える」に対しての受身表現となる。また、「입다」動詞の受身表現のほかに、「やられる、被害をこうむる」という意味の「당하다」動詞があるが〈KOREANVI〉までの内容には含まれていない。

6-3 受身形と受身表現

최현배 (1978)、우인혜 (1997) による韓国語の受身形・受身表現は次のようである。

- 1) 受動⁵⁾接尾辞形態 … 「動詞語幹+ 이 i/히 hi/리 li/기 gi」
- 2) 補助動詞形態 … 「動詞の語幹+ -아/어지

다」

3) 語彙的形態 … 「되다・받다・입다・당하다
など」

〈KOREANⅥ〉までのテキストに出る文法項目
および語彙のうち、受身と関連した内容を次の
〈表9〉にまとめる。

表9

1) 受動接尾辞形態	
열리다, 놓이다, 바뀌다, 보이다, 쓰이다, 묵이다, 섞이다, 치이다, 쌓이다, 닫히다, 막히다, 잡히다, 밟히다, 물리다, 풀리다, 막히다, 팔리다, 들리다, 걸리다, 끊기다, 쫓기다, 흔들리다	
2) 補助動詞形態	
찢어지다, 세우지다, 만들어지다, 깨지다, 커지다, 쏟아지다, 눌러지다, 써지다, 지워지다	
3) 語彙的形態	
되다	취소되다, 금지되다, 허용되다, 대조되다, 반대되다, 지속되다, 전염되다, 회복되다, 매진되다, 정체되다, 주차되다, 확인되다, 품질되다, 걱정되다, 긴장되다, 예정되다, 마감되다, 관련되다, 향상되다, 반복되다, 포함되다, 연기되다, 취직되다, 마비되다, 전달되다, 당첨되다, 저장되다, 발명되다, 발견되다, 개발되다, 사용되다, 완공되다, 판매되다, 준비되다, 통일되다, 후회되다, 해석되다
받다	연락받다, 소개받다, 간섭받다, 부탁받다, 진료받다, 치료받다, 추대받다, 오해받다, 존경받다, 인정받다, 칭찬받다, 사랑받다, 안내받다, 평가받다
맞다	도둑맞다
입다	상처입다

参考文献

沖森卓也 (2013) 『日本語概説』 朝倉書店
 沖森卓也・曹喜澈編 (2014) 『韓国語と日本語』 朝倉書店
 生越直樹編 (2002) 『対照言語学』 東京大学出版会
 金水敏ほか (2000) 『時・否定と取り立て』 岩波書店
 國廣哲彌 (1982) 『意味論の方法』 大修館書店
 寺村秀夫 (1991) 『日本語のシNTAXと意味Ⅲ』 くろしお出版
 寺村秀夫編 (1995) 『ケーススタディ 日本文法』 おうふう
 山田考雄 (1936) 『日本文法学概論』 宝文館
 서정수 (1996) 『현대국어문법론』 한양대학교 출판원
 성광수 (2008) 『한국어 표현 문법』 한국문화사
 손세모돌 (1996) 『국어 보조용언 연구』 한국문화사
 우인혜 (1997) 『우리말 피동 연구』 한국문화사
 이상억 (1999) 『국어의 사동·피동구문 연구』 집문당
 이익섭·채완 (2000) 『국어문법론강의』 학연사
 최현배 (1978) 『우리말본』 정음사

テキスト

『이화 한국어梨花韓国語 1-1』 (KOREANⅠ：2020～2022年春学期)
 『이화 한국어梨花韓国語 1-2』 (KOREANⅠ：2020～2022年秋学期)
 『이화 한국어梨花韓国語 2-1』 (KOREANⅢ：2020～2022年春学期)
 『이화 한국어梨花韓国語 2-2』 (KOREANⅣ：2020～2022年秋学期)
 『이화 한국어梨花韓国語 3-1』 (KOREANⅢ：2021～2022年春学期)
 『이화 한국어梨花韓国語 3-2』 (KOREANⅣ：2021～2022年秋学期)

5) 韓国語文法では受身を「受動」または「被動」とする。